

研究種目：基盤研究（A）

研究期間：2006-2009

課題番号：18203017

研究課題名（和文） 内生的時間選好を導入した国際貿易・投資の動学的一般均衡理論の確立

研究課題名（英文） Research on dynamic general equilibrium models of international trade and investment with endogenous time preference

研究代表者 趙 来勲（ZHAO LAIXUN）
神戸大学・経済経営研究所・教授
研究者番号：70261394

研究分野：国際経済学

科研費の分科・細目：経済学・応用経済学

キーワード：経済理論・経済政策

1. 研究計画の概要

***本研究は次の二つの基本方針のもとに遂行する。**

（1）研究代表者のリーダーシップの下に、個別テーマを各研究分担者に割り当て、研究代表者と各研究分担者との共同研究を遂行して研究成果を挙げることを目指す。個別テーマと、これを割り当てられる研究分担者および研究協力者は以下のとおりである。

- ①菊池徹教授：収穫逓増/独占的競争を取り入れてCNS論文のモデルを拡張する。
- ②土居潤子准教授：長期的成長率と貿易パターンを同時に説明できるようにCNS論文のモデルを「内生的成長モデル化」する。
- ③胡云芳准教授：一国のマクロ経済政策や貿易政策が他国の経済にどのような影響を及ぼし、これが当該国の経済にどのように跳ね返るかという「間接効果」も考慮に入れた総合的政策効果分析を行えるようにCNS論文のモデルを発展させる。
- ④上東貴志教授：内生的時間選好率関数を特別な場合として含む一般的な通時的選好構造の数学的研究。

（2）研究分担者あるいは研究代表者が、研究成果を国際的研究者の前で報告してコメントをもらい、改良した上で国際的な査読付学術誌に投稿して公刊を目指す。

2. 研究の進捗状況

趙：「iPod サイクル」のモデル分析を行い、先進国の企業家によってイノベーションとアウトソーシングへの努力が同時に実行されることを示した。技術的改善、諸政策、模倣、知的所有権保護などがこうしたアウトソーシング、イノベーション、あるいは賃金にいかに関与するかについても議論している。菊池：（1）独占的競争市場を組み込んだ動学的国際貿易モデルの拡張と、（2）重複世代を組み込み、各国間の時間選好率格差に焦点を当てた動学的貿易モデルの構築を主として行った。（1）に関しては、動学的な意味でのヘクシャー＝オリーオン定理を再確認した。（2）に関しては、貿易収支のインバランスを時間選好率格差から説明できることを明らかにした。

土居：国際的労働移動によって受け入れ国にどのような影響が及ぼされるのか、について、世代重複モデルを構築して議論を行った。国際間の資本移動を考慮煮入れた場合には、賃金による影響のみが現れるだけであるが、資本移動を考慮しない場合には、通時的に、資本蓄積量、公共資本量も変化するため、異なる世代、異なる skill を持つ人に異なる影響を及ぼすことが明らかになった。

胡：国際貿易と経済成長に関する国際間の貿易パターン、または各国内の市場部門と非市場部門（家庭内生産）の間の資源配分問題を中心に長期及び短期の動学的分析を行った。

時間選好率が内生的に決まるケースも考慮に入れて、それより動学貿易モデルにおける内生変数に与える影響を分析した。

上東：時間選好率の異なる2国からなる資本移動の一般均衡モデルを構築した。標準モデルと異なり大国経済を想定し、それぞれの国が利子率へ影響力があると仮定した。均衡を分析し、定常点の存在および安定性を明らかにした。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

計画通りに、研究代表者も各分担者も時間選好率を導入した動学モデルを構築し、割り当てられる研究を行っている。予想された結果も大分得られている。

4. 今後の研究の推進方策

平成21年度は主に研究業績をまとめて、国内外の学会で発表し、反応を貰ったうえで論文を完成し海外の英文誌に投稿する。また、年度末に総括を行う予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 11 件: すべて査読有)

①Doi, Junko, A Variety Expansion Model of Growth with External Habit Formation, forthcoming in *Journal of Economic Dynamics and Control*.

② Zhao, Laixun and Fuat Sener, Globalization, R&D and the iPod Cycle, *Journal of International Economics*, 2009, 101-108.

③Zhao, Laixun, Unions and Foreign Direct Investment, *Princeton Encyclopedia of the World Economy*, 2008, 1149-1151.

④ Kamihigashi, Takashi, Transversality Conditions and Dynamic Economic Behavior, *The New Palgrave Dictionary of Economics*, 2nd Edition, 2008, 384-387.

⑤T.Kikuchi, K. Shimomura, D.-Z. Zeng, On Chamberlinian-Ricardian Trade Patterns, *Review of International Economics*, 2008, 282-292.

⑥Hu, Yunfang, Human Capital Accumulation, Home Production and Equilibrium Dynamics, *Japanese Economic Review*, 2008, 292-311.

⑦Takashi Kamihigashi, On the Principle of Optimality for Nonstationary Deterministic Dynamic Programming, *International Journal of Economic Theory*, 2008, 519-525.

⑧Zhao, Laixun and E. Dinopoulos, Child Labor and Globalization, *Journal of Labor Economics* 25, 3, pp. 553-579, July 2007

⑨Kikuchi, T., K. Shimomura, Monopolistic Competition with Cross-Country Technological Differences and International Trade, *Japan and the World Economy*, 2007, 236-247.

⑩Toru Kikuchi, Koji Shimomura, A New Dynamic Trade Model of Monopolistic Competition and Increasing Returns, *Review of Development Economics*, 2007, 232-241.

⑪ Hu, Yunfang, Status-Seeking, Catching-Up and Policy Effect Analysis in a Dynamic Heckscher-Ohlin Model, *Review of Development Economics*, 2007, 258-274.

[図書] (計 3 件)

① T. Kamihigashi, L. Zhao, International Trade and Economic Dynamics: Essays in Memory of Koji Shimomura, Heidelberg Springer, 2009, 532 頁.

②菊地徹, 『コミュニケーションネットワークと国際貿易』, 有斐閣, 2007, 248 頁

③石川城太・菊地徹・椋寛, 『国際経済学をつかむ』, 有斐閣, 2007, 286 頁